

## ■ランプ(蛍光灯)交換について

△注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。  
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。  
しばらくしてから行なってください。

△注意 ランプホルダー(ソケット)やランプ支持パネを強く弾かないでください。ランプの破損・けがの原因になります。

### 1 電源を切る

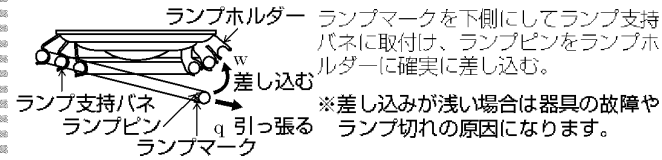
### 2 セードを外す

■取外手順2を参考にセードを外す。

### 3 古くなったランプを取外す

### 4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実にに行なってください。  
落下によるけがの原因になります。



### 5 セードを取付ける

■取付手順5を参考にセードを取付ける。

### 6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- ・明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- ・蛍光ランプの両端が黒ずみだしたら交換時期です。
- ・長い間使用していると知らないうちに暗くなってきました。定期的に交換しましょう。
- ・器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ
<b>&lt;保証について&gt;</b> 1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。 3. ランプ(LED電球含む)・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 a 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 s お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 d 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 f 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 g 施工上の不備に起因する故障や不具合 h 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 j 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。		※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。 <b>&lt;アフターサービスについて&gt;</b> 1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。
保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 安定器・LED電源/モジュール:3年間 お買上年月日		取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
お	お名前	
客	ご住所	
様	電話 ( )	

コイズミ照明株式会社

再生紙を使用しています。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 BHN8118MC

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ





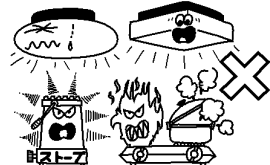



施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

## 【安全上のご注意】

<div><div>！</div><div>警告</div></div> <div>この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。</div>	
<div><div>！</div><div>厳守</div></div> <div>器具の取付けは、説明書に従い確実に 行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。</div>	<div>下図のような場所や配線器具の場合、取付けできません。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。 配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。</div> <div><div><div>傾斜天井</div><div>変形天井</div><div>サオブリチ天井</div><div>格子天井</div></div><div><div><div>ローゼット</div><div>シーリング</div></div><div>ケースウェイはめ込み配線器具</div><div>●配線器具の出しろが少ないもの</div><div><div><div><div>シーリングボディ</div><div>20mm未満</div></div><div><div>埋込ローゼット</div><div>10mm未満</div></div><div><div>フル引掛シーリング</div><div>20mm未満</div></div><div><div>フル引掛ローゼット</div><div>8mm未満</div></div></div><div>●破損している</div><div><div><div>ヒビ割れ欠けている</div><div>ガラスキやガタツキ</div></div><div>●電源端子露出形</div><div><div>電源端子</div></div></div></div></div></div>
<div><div>禁止</div></div> <div>このような場所には取付けないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。</div> <div><div><div>傾斜天井</div><div>壁面</div><div>不安定な場所</div><div>補強のない場所</div></div></div>	<div><div>禁止</div></div>
<div><div>分解禁止</div></div> <div>器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。</div>	
<div><div>禁止</div></div> <div>器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。</div> <div>器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。</div> <div>埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものを ご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。</div>	
<div><div>！</div><div>厳守</div></div>	<div>異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。</div>

取説No. C117-670 NN/S・T-101

<div> <b>注 意</b></div> <div>この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。</div>			
<div> 接触禁止</div>	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため 触らないでください。 →やけどの原因になります。	<div> 禁止</div>	ライトコントローラなどの調光器との併用はで きません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必 要です。調光器の取外しには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。
<div> 水ぬれ禁止</div>	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外 では使用できません。 →火災・感電の原因になります。		器具の下にストーブなど の高温のものを置かない でください。また、燃え やすいものを近づけて使 用しないでください。 →火災の原因になります。 
<div> アース工事</div>	アース端子(線)がついている器具は必ず電気設 備の技術基準に従って、接地(アース)工事を 行なってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になり ます。	<div> 厳守</div>	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で 使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
<div> 禁止</div>	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外 では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。		

■定格

型 番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ
BHN8118MC	AC100V	50/60Hz 共用	106W	FHC 20+FHC 27+FHC 34 + LEDユニット×2

※リモコン送信機で消灯した場合、約1Wの電力を消費します。  
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■取付前の確認 ⚠ 警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

天井に右図の配線器具がついている場合  
電気工事は不要。取付けられている  
配線器具が確実に固定されているか  
確認する。

シーリングボディ


フル引掛  
シーリング


埋込ローゼット

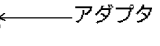
フル引掛  
ローゼット

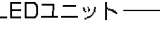
■取付手順 ⚠ 注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

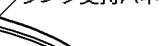
※この図は一部抽象化した共通部品図です。  
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。


アダプタ側コネクタ


アダプタ

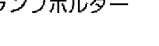
電源コード

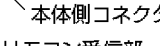
LEDユニット

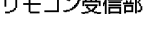
ランプ支持パネ


ツメ

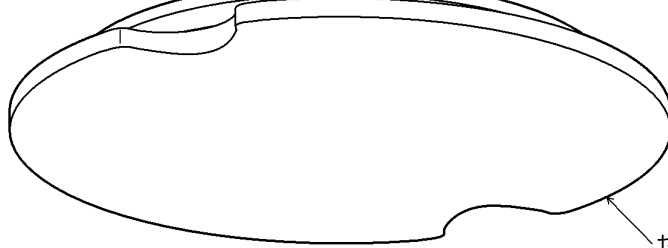
本体

ランプホルダー

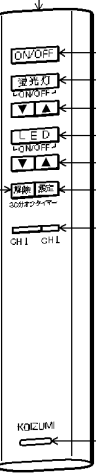
本体側コネクタ

リモコン受信部

ランプ

セード

〈リモコン送信機一式〉



発信部

ON/OFFスイッチ

蛍光灯スイッチ

蛍光灯調光(▼▲)スイッチ

LEDスイッチ

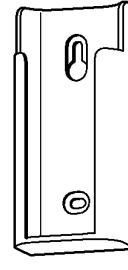
LED調光(▼▲)スイッチ

タイマー設定スイッチ

チャンネルスイッチ


蓄光マーク


タイマー解除スイッチ

ホルダー

リモコン送信機・・・1個

ホルダー・・・・・・・・1個

取付用木ネジ・・・・・・・・2本

単3形電池・・・・・・・・2本

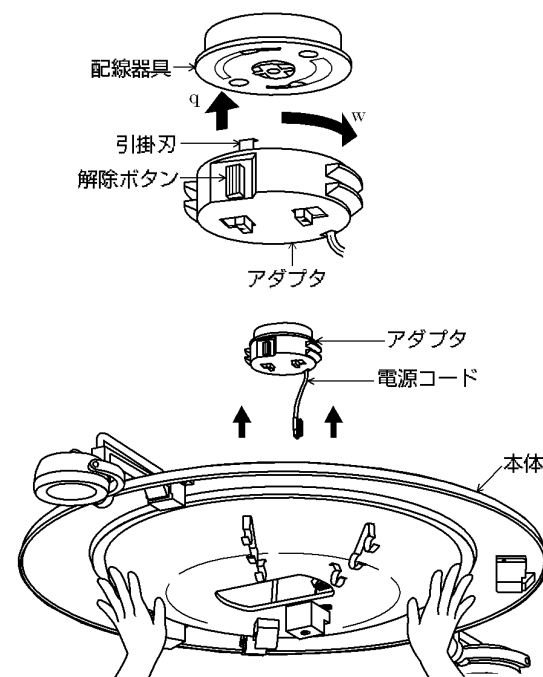
## 1 アダプタを配線器具に取付ける

アダプタの引掛刃(2本)を、配線器具にはめ込み、  
"カチッ"と音がするまで右に回す。

⚠ 警告 解除ボタンを押さずに左に回し、はずれないことを確認してください。  
アダプタの取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

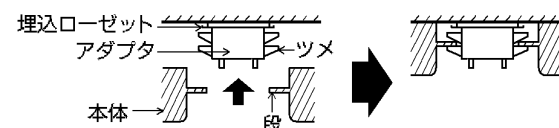
## 2 本体を取付ける

q 本体の穴に電源コードを通す。  
w 本体をアダプタに合わせて押し上げる。



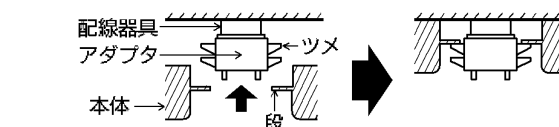
### <埋込ローゼットの場合>

アダプタのツメに本体が引っ掛かるように1段階押し上げる。

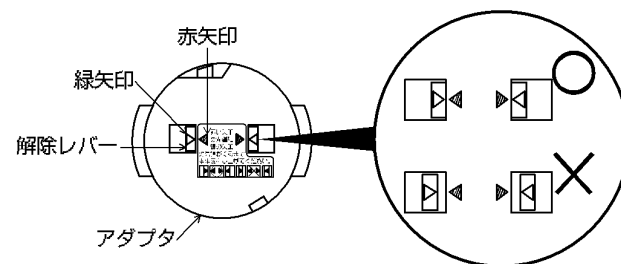


### <その他の配線器具の場合>

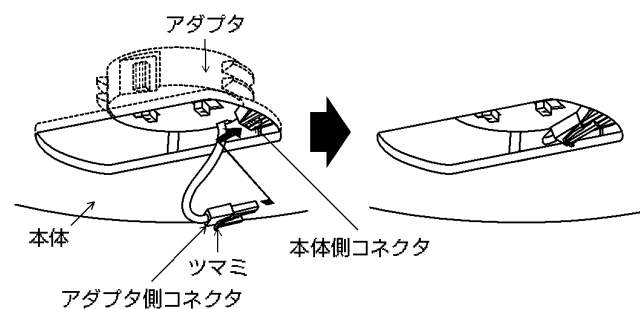
2段階押し上げる。  
本体がガタつく場合は再度強く押し上げる。



⚠ 警告 解除レバーの緑の矢印の先端が、アダプタの赤い矢印の先端にくるまで本体を押し上げてください。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。



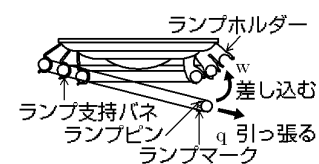
## 3 コネクタを接続する



## 4 ランプ(蛍光灯)を取付ける

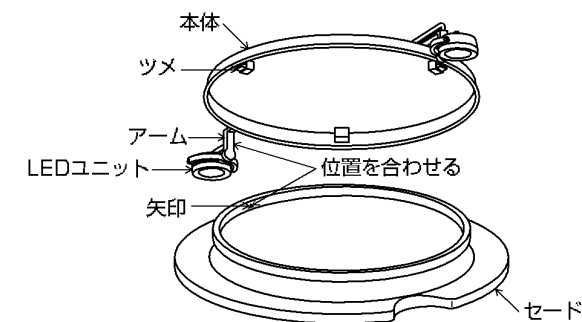
ランプマークを下側にしてランプ支持バネに取付け、  
ランプピンをランプホルダーに確実に差し込む。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。



## 5 セードを取付ける

セードの矢印と本体のLEDユニットのアームを合わせ、  
ますぐに持ち上げて確実に取付ける。



## 6 点灯の確認を行なう

### ■取外手順

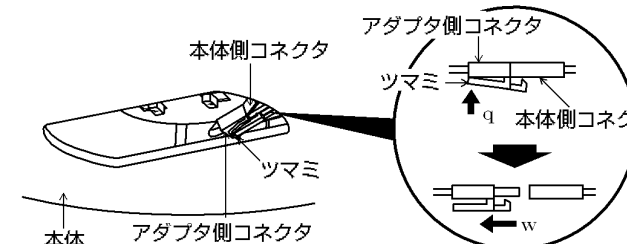
## 1 壁スイッチで電源を切る

## 2 セードを取外す

セードをゆっくり下に引き下ろして取外す。

## 3 コネクタを取外す

コネクタをツマミを押さえながら引き抜く。



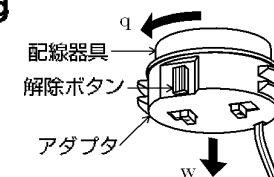
## 4 本体を取外す

本体を支えながら、アダプタのレバーを外側に  
ひろげ、本体を取外す。



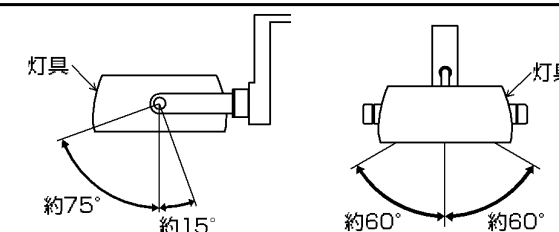
## 5 アダプタを取外す

アダプタの解除ボタンを  
押しながら、左に回し、  
アダプタを取外す。



### ■照射方向の調節について

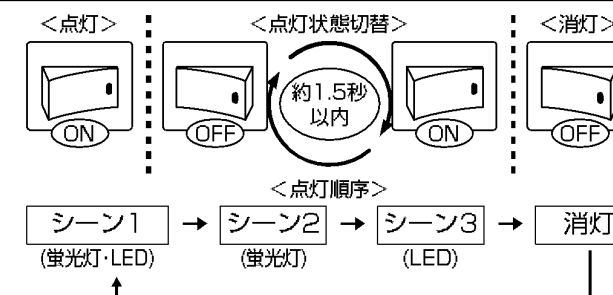
●照射方向を調節する場合は、灯具を持って行なってください。  
指定範囲以上、無理に動かさないでください。



●壁スイッチをONにすると点灯します。  
・壁スイッチをOFFにし、約1.5秒以内にONにすると点灯状態の切り替えができます。  
・壁スイッチをOFFにし、約3秒以上過ぎてからONにすると全灯点灯します。

●1つの壁スイッチで2台以上の器具をブルレス操作することは避けてください。

●おでかけの際には壁スイッチをOFFにしてください。



※シーン2とシーン3は前回の調光状態で点灯します。  
シーン1に切り替えた時、蛍光灯とLEDの明るさは必ず100%状態になりますが調光スイッチで明るさを調節できます。

### <ホテルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合>

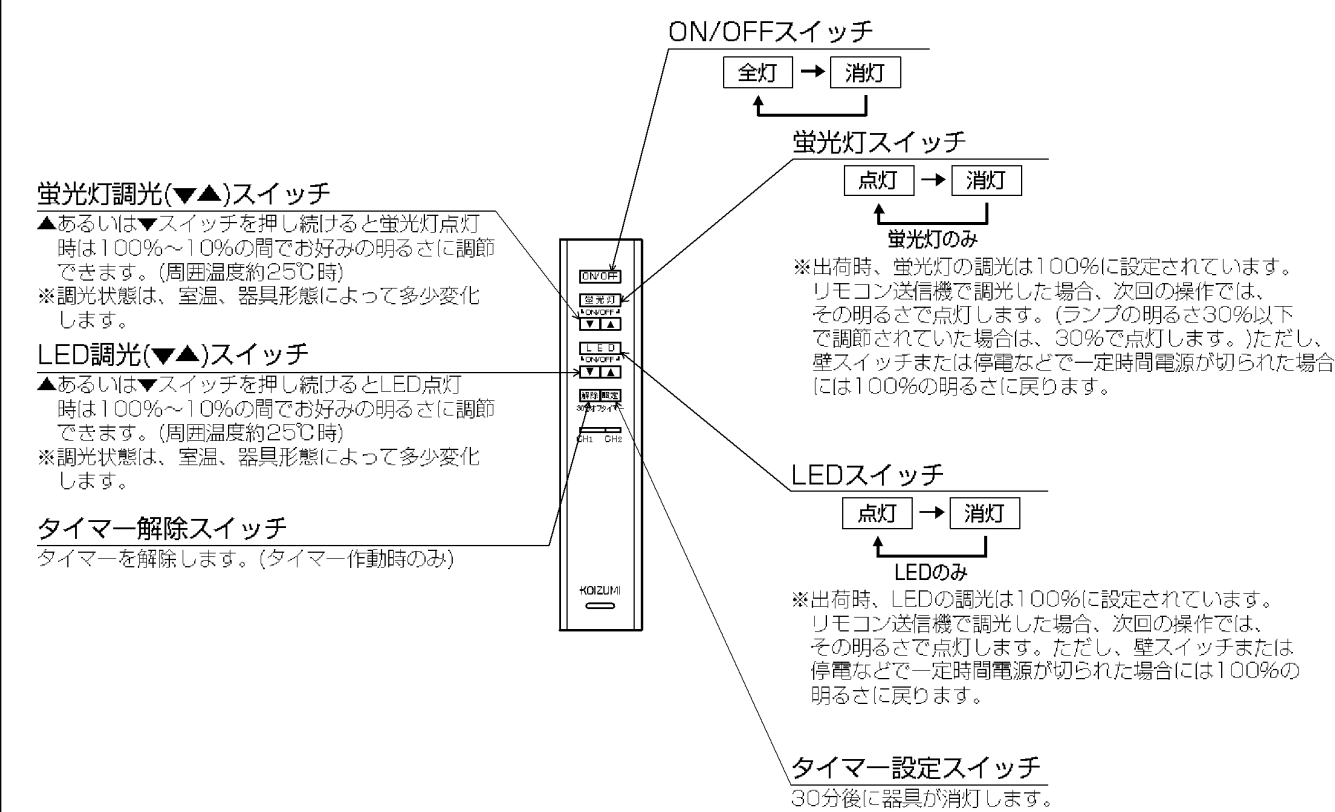
壁スイッチの使用は2個(3路配線)までとしてください。3個(4路配線)以上使用されますとブルレス動作が正常にはたらかない場合があります。  
壁スイッチを3個以上使用される場合は、ホテルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

■リモコンで操作する

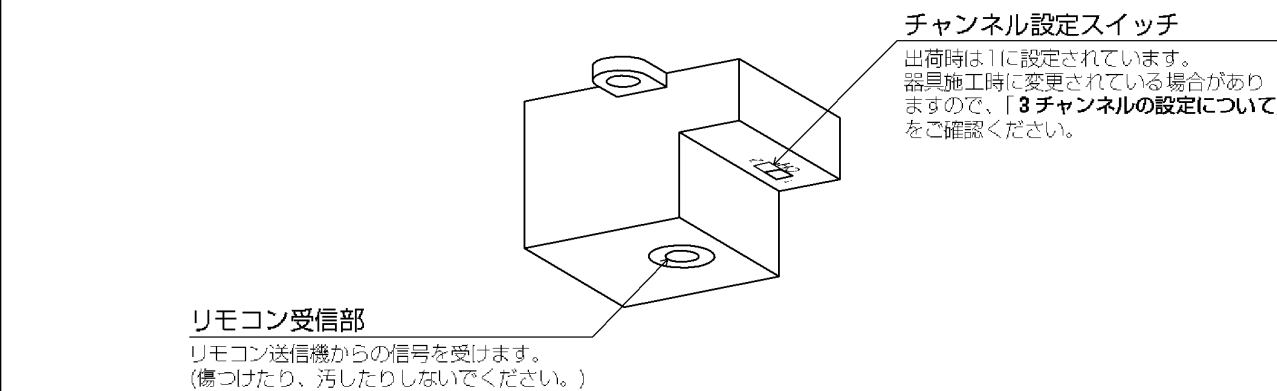
※壁スイッチがある場合、壁スイッチをONにし、リモコン送信機を操作してください。

1 リモコン送信機の操作について

リモコン送信機は必ず器具に向けて操作してください。また、リモコン送信機を操作すると、確認音が本体よりします。



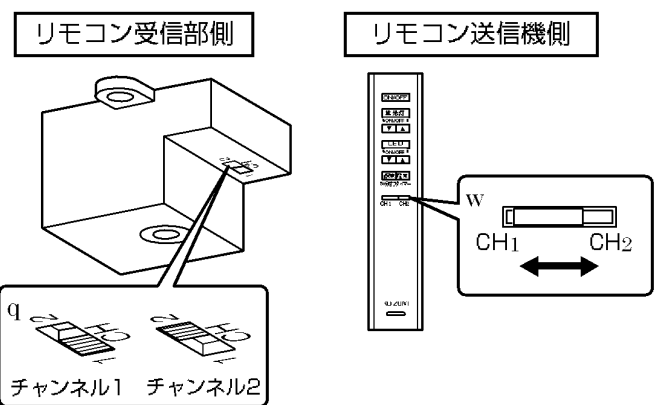
2 リモコン受信部のスイッチについて



3 チャンネルの設定について

<1台の器具のみ操作する場合>  
リモコン送信機のチャンネルを1にしてください。

<2台の器具を操作する場合>  
一室で2台の器具をリモコンで操作する場合には、どちらか一方のリモコン受信部側のチャンネルを1にし、他方を2にしてください。リモコン送信機側のチャンネルを操作したい照明器具のチャンネルに合わせてください。

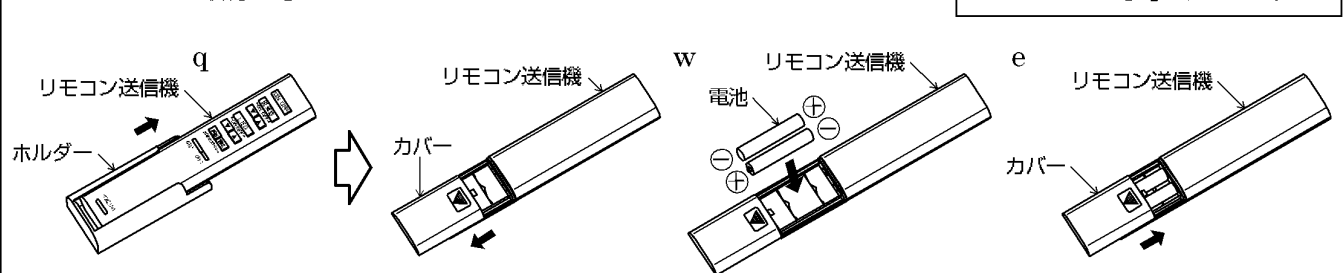


■リモコン送信機について

1 リモコン送信機をホルダーから取出す

- q リモコン送信機裏側のカバーを手前に引き、カバーを外す。
- w 電池の極性を表示に合わせて入れる。
- e カバーを取付ける。

お買い上げ時にセットされている電池はモニター用電池ですので、早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。

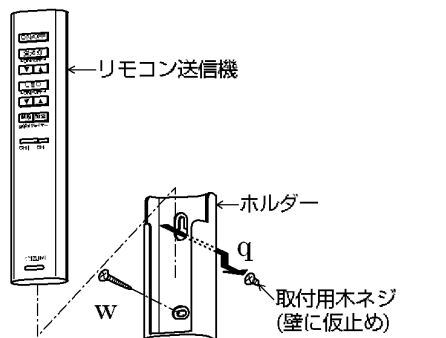


2 リモコン送信機を壁などに取付ける場合

- q 必ず付属の取付用木ネジ1本を壁に仮止めしてから、ホルダーを引っ掛ける。
- w 2本目の取付用木ネジを取付けてから仮止めの取付用木ネジをねじ込み、固定する。

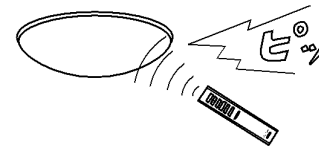
※その際、強く締め込まないようにする。ホルダーが破損するおそれがあります。

※操作する場合はホルダーから取り出し、器具に向けて行なってください。



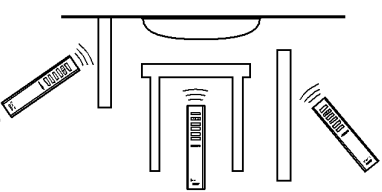
3 リモコン送信機を操作

すると確認音が本体よりします。

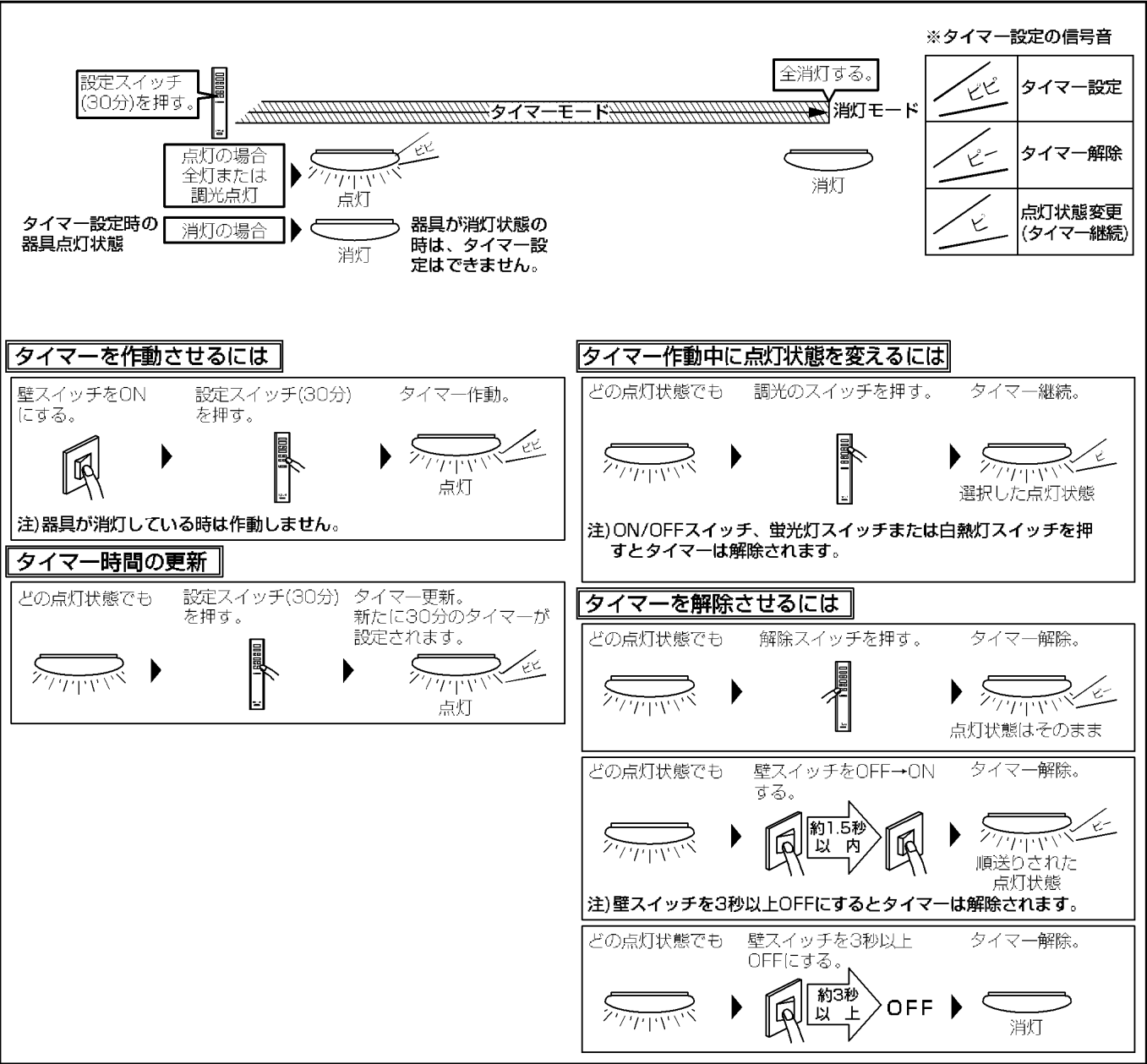


4 使用上のご注意

- このリモコン送信機は、コイズミ照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。他社の照明器具が動作する場合がありますが故障ではありません。その際は、器具とリモコン送信機のチャンネルを切り替えてください。
- 電池の寿命は、1日10回の常溫使用で約半年です。電池は半年を目安に、必ず2本同時に交換してください。※充電式(Ni-Cd)電池は使用できません。
- 器具によっては、反応が遅い場合がありますが故障ではありません。
- スイッチを早く押すと反応しない事がありますので、ゆっくり操作してください。
- 長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。リモコン送信機で消灯した場合、照明器具側に待機電力がかかり電力を消費します。
- 壁スイッチで電源を切った場合は、リモコン送信機を操作しても器具は動作しません。壁スイッチで電源を入れてから操作してください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因になります。
- 温度の高くなるものの近くでは使用しないでください。過熱・故障の原因になります。
- 室温が低い場合は、点灯直後の再操作に時間がかかることがあります。器具内の温度が上昇しますと正常に戻ります。
- リモコン送信機の発信部が汚れますと作動しにくくなります。乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- リモコン送信機の周囲にしゃべり物がある場合、作動しない場所があります。しゃべり物をさけて再度スイッチを押してください。
- 器具をご使用になる部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいとリモコン送信機が作動しにくい場合があります。



■タイマーの設定について



修理を依頼される前に

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・電器店、別紙サービスセンターにご相談ください。

●動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。

現象	考えられる原因	処置
壁スイッチで照明器具を操作できない、または点灯しない	ブルレス操作が確実に出来ていない	電源のON・OFF状態がわからないタイプの壁スイッチをご使用の場合、操作を確実に行ってください(2秒以内のOFF→ON)
	ランプが切れている	ランプを交換する
	LEDが点灯しない	工事店・電器店、別紙サービスセンターにご相談ください
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	リモコン送信機の電池の極性＋－が間違っている	電池を正しく入れる
	リモコン送信機の電池が切れている	電池を交換する
	照明器具とリモコン送信機のチャンネルが合っていない	照明器具とリモコン送信機のチャンネルを合わせる(説明書の■リモコンで操作するをご確認ください)
リモコン送信機で照明器具を操作できないまたは、点灯しない	リモコン送信機で消灯してから壁スイッチをONにした	再度、電源が入ると照明器具が点灯するようになっています(お出かけの際は、壁スイッチをOFFにしてください)
	消灯中に、停電が起こった可能性があります	
リモコン送信機で消灯したのに照明器具が点灯している		

！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■LEDユニットについて

- ・明るさが半減するまで平均約40000時間です。
- ・LEDのみの交換はできません。
- ・LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- ・LEDにはパラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- リモコン操作時に、リモコン受信部の向きにより作動しにくい場合がありますが故障ではありません。器具の向きを変えてリモコン操作してください。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 多灯用器具は間引き点灯できません。

■故障ではありません

以下のような症状は、ランプが寿命末期になり、器具の保護回路が働いたためで、故障ではありません。

点灯中に突然ランプが・・・

- ・消灯もしくは点滅する
- ・消灯して暗くなったり、豆球が点灯する
- ・調光操作ができなくなったりする

いずれの場合も電源を入れ直すと再び点灯するが、しばらくすると同じ状態になる

電源を切ってランプを交換して電源を入れ直せば正常に点灯します。